看護 あきた

Vol.121

Nursing Akita

平成27年度 2号
公益社団法人秋田県看護協会会報

［目次］

1 シリーズ認定看護師 こまち紹介
2 新人ナース紹介
3 地区支部活動報告

5 理事会だより
6 シリーズ 医療・看護安全委員会 安全情報
7 事務局からのお知らせ

平成27年度会員数 7,056名（H27.9.24現在会員数）

保健師 261名　助産師 310名　看護師 6,268名　准看護師 217名

わたしのまちの看護師さん

シリーズ 認定看護師

「こまち」紹介

毎回、看護の専門性をたゆみなく探求し続ける認定看護師さんを紹介します。

小野 絵美さん

こまち File No.39

中通総合病院　透析看護認定看護師

今取り組んでいること

私は、血液浄化療法部に所属しながら、腎不全外来、透析予防外来の担当や病棟カンファレンスなどに参加し活動しています。主に、外来では慢性腎臓病に至った経過や生活背景、病気に対する思いやこれからの治療に対する思いを受け止め、慢性疾患と付き合っていけるように支援しています。また、血液透析、腹膜透析、腎移植の説明を行い、患者さんが納得して治療を選択できるよう支援しています。透析室では、合併症を予防し、元気に透析へ通院できるようスタッフや多職種と共に栄養管理、フットケア、リハビリに取り組んでいます。

これからやりたいこと

患者さんの生活支援をしていくために、院外の多職種の支援も重要だと考えています。訪問看護師やケアマネージャーとの情報交換により、透析患者さんやその家族への関わりを見直すことができたケースも多くあります。今後も院内外での多職種連携を積極的に行い、患者さんのその人らしい生き方を支援できるよう働きかけていきたいと思っています。

原　萌黄さん

こまち File No.40

平鹿総合病院　糖尿病看護認定看護師

今取り組んでいること

消化器・糖尿病内科外来に所属し、糖尿病の患者さんに対して在宅療養相談やフットケアを行っています。たとえば食事療法のうまくいかない患者さんに出会ったとき、生活背景や食事を作る人、食事時間、食事の内容など様々なことを情報収集します。その情報の中から患者さんの抱える問題を見出し、解決方法について一緒に話し合い、考えていく過程そのものを積み重ねることが今取り組んでいることの一つであるといえます。糖尿病とともに生きていく患者さんが、その人らしい人生を歩んでいけるように、ひとりひとりの患者さんと丁寧に向き合っていけたら良いと思っています。

これからやりたいこと

糖尿病の患者さんは多く、糖尿病合併症を持つ方も増えています。特に、糖尿病腎症が原疾患による透析導入は全体の第1位を占めており、予防が急務となっています。そのためには看護師だけではなく、チームで取り組んでいく必要があります。今後は外来で透析予防診療を行っていくための仕組みづくりを行っていきたいと考えています。

新人ナース紹介

松橋　恭さん

能代厚生医療センター

私は、4月から整形外科と小児科の混合病棟で働いています。初めは分からないことばかりで緊張と不安の毎日でしたが、徐々に出来ることも増え、患者さんとの関わりの中でやりがいを感じることができるようになってきました。患者さんが元気になっていく姿や笑顔で退院する姿を見ると、とても嬉しく、仕事の活力にもなります。7月からは夜勤業務も始まり、新たな緊張感の中で仕事をしています。まだまだ分からないことも多く、知識の浅さと技術の未熟さを痛感する毎日ですが、優しい先輩看護師と同期に囲まれとても温かい環境の中で日々の業務に励んでいます。

私は、患者さんの心に寄り添う看護を目標にしています。そのためには患者さんと親身に向き合うことだけでなく、多くの知識と的確な観察力が必要不可欠だと思います。毎日勉強の日々ですが、様々な経験を積み、目標とする先輩方から多くのことを吸収し、一日一日成長していきたいと思っています。

太田　葉月さん

秋田赤十字病院

4月から秋田赤十字病院産科病棟に勤務し半年が経過しました。入職したての頃は分からないことが多く緊張と不安の毎日でした。しかし、優しくて温かいプリセプターさんや先輩方のおかげで安心して仕事に取り組むことが出来ています。

当院は秋田県における周産期医療の中核施設である為、高度な医療技術が求められてきます。助産師としてスタートをきったばかりですが、日々業務の中で新しい知識、技術を積極的に学び身に付けていきたいと思います。また患者さんやご家族のニーズ、思いを大切にして産前から産後まで継続した支援が出来るよう頑張っていきたいと思っています。

助産師は専門的な知識や技術だけでなく、自己で考え判断する力も求められてきます。先輩方に相談しながら、少しずつ自分で判断し行動出来る力を養っていきたいです。そして患者さんやご家族が安心できるような優しくて包容力のある助産師になりたいと思っています。

三浦　舞子さん

秋田厚生医療センター

今年の4月から保健師として働いています。保健福祉活動室の活動は院内では日帰り人間ドックや宿泊ドック、職員の定期健康診断などがあり、院外では事業所での健診、がん検診などがあります。

先輩保健師の方の指導のもと身体計測や採血、各検査の説明や介助を行っています。また、事業所健診も経験し、問診や検体の取り扱い方、結果処理の仕方を少しずつ覚えています。

7月からは2ヶ月間院内留学をしています。消化器病棟で検査を受ける患者さんの看護、化学療法や緩和ケアを受けている患者さんの看護について学び、実際に看護ケアを実践しました。

健康な方が対象な人間ドックや健診の業務から、院内留学を通じて病気を持った患者さんへの看護、化学療法を受けている方の看護、ターミナル期の患者さんへの看護について学ぶことができ、とても貴重な経験をさせていただいております。この経験を健診時の検査説明および介助、また今後行う保健指導などに活かし、さらに知識と技術を磨いていきたいと考えています。

未熟な私ですが、一生懸命さと笑顔をモットーに頑張ります。

阿部　雄也さん

本荘第一病院

3月に看護学校を卒業し、4月から本荘第一病院5病棟で働いています。主に外科・整形外科をはじめとした手術を受ける患者様、化学療法を受ける患者様、緩和ケアを目的とした終末期の患者様など様々な疾患の患者様を看護しています。地域に根ざした温かい雰囲気の本荘第一病院で働くことができとても嬉しく思っています。

入職当初はわからないことだらけで不安と緊張の毎日でしたが、プリセプターさんをはじめとした病棟の先輩看護師の方々の適切な指導や、親切な言葉かけのおかげで少しずつ業務に慣れていくことができました。まだまだ知識や技術をはじめ学ぶべきことは多いです。とくに急性期の日々変化していく患者様の状態にあった看護を実践することは難しいですが、やりがいも感じています。これからも日々学ぶ姿勢を大切にし、患者様、家族の不安や苦痛を少しでも取り除けるよう、多くの視点からアセスメントできる看護師を目指して頑張っていきたいと思います。

地区支部活動報告

9地区支部活動

- **教育事業**
  研修会、看護研究発表会
- **看護週間事業**
  看護の日「まちの保健室」／ふれあい看護体験
- **老人看護月間事業**
  地域高齢者との共生
- **他団体との連携**
  ボランティア活動等

鹿角 地区支部

鹿角地区支部長　川上　直美

「看護の日記念事業　まちの保健室」

平成27年5月17日（日）いとく鹿角ショッピングセンターにて、看護の日記念事業として「まちの保健室」を実施しました。

血圧測定・血管年齢測定・体脂肪測定に38名、健康相談には5名の来場者がありました。来場者からは「毎年開催するのであれば、来年も是非来たい。」とのうれしい声も聞かれました。看護を地域住民へ還元すると共に、看護職の専門性を発揮できる良い機会となりました。

「ふれあい看護体験」

平成27年7月22日（水）鹿角市内３校から23名の学生を対象に、一日看護学生事業「ふれあい看護体験」を実施しました。当日は3病院に分かれて血圧測定や足浴等のケアを体験しました。緊張しながらも笑顔で、一生懸命コミュニケーションを取る姿が印象的でした。短い時間でしたが、命の尊さや看護職の役割を理解してもらい、「数年後、地元に戻ってきて一緒に働きましょう。」の言葉で締めくくりました。

秋田臨海 地区支部

秋田臨海地区支部長　成田　雪美

「第１回　臨海地区支部研修会」

7月11日(土)13時30分～16時、秋田ビューホテルにおいて、平成27年度 第１回臨海地区支部研修会を開催しました。講師は、秋田大学医学部付属病院緩和ケアセンターのがん看護専門看護師として活躍されている今野麻衣子氏で、「がん看護～がん患者へ寄り添うためのコミュニケーションスキル」というテーマでご講演いただきました。

これまでに体験された事例を交えて、非言語メッセージの重要性や、言葉の裏に隠れたニーズや意味を理解することの大切さについて教えていただきました。研修後半には、がん看護におけるコミュニケーションの困難事例についてグループ討議も行い、様々な看護の場面で活用できる実りある研修会となりました。

「ふれあい看護体験」

中･高校生の夏休みに合わせ、市内4病院、秋田赤十字病院、市立秋田総合病院、秋田厚生医療センター、中通総合病院のご協力をいただき、ふれあい看護体験を行いました。

参加された学生のみなさんは、慣れない白衣ときちんと整えた髪型に少々緊張しながらも、それぞれの部署で積極的に参加していました。今回の体験で、より看護という職業への理解と関心が深められたことと思います。今後増加の一途をたどる高齢化社会に向けて、看護･介護の力がますます必要とされます。今回のふれあい看護体験を通じて一人でも多くの看護師が誕生してくれることを期待したいものです。

湯沢･雄勝 地区支部

湯沢･雄勝地区支部長　阿部　比登美

「ふれあい広場」

7月12日(日)　湯沢市社会福祉協議会主催の「第30回ふれあい広場」に今年も参加しました。この事業の趣旨は、「障害者、高齢者、子供など地域住民が福祉を体験する中から、交流や心のふれあいを深める」ことであり、歩行者天国となった湯沢市柳町商店街通りはたくさんの人で賑わいました。「ふれあい看護コーナー」では、血圧測定、体脂肪測定、健康相談など行いましたが、たくさんの方が足を運んでくれました。ご高齢の方の中には、毎日の健康づくりで気をつけている事や、長生きの秘訣などお話しされる方もおり、健康の意識の高さを感じました。また、障害者や他団体の方の元気な声や笑顔にふれ、ふれあいの輪を感じることができ、今後も参加していきたいと思います。

「第9回職業体験総合学習フェア･仕事の王国」

7月25日(土)あきたふるさと村で開催された「しごとの王国」に参加しました。「看護師になろう」コーナーでは看護衣着用し、はしゃいでいる子供や照れくさそうにしている子供、そして記念撮影する親御さんの姿はとても微笑ましく映りました。また赤ちゃん人形に哺乳瓶をくわえさせたり、おむつ交換に奮闘する子供、親の手に包帯を巻いたり、聴診器を当てて心臓の音を聞きあう親子などで大変賑わいました。めったにない体験とあって、込み合う時間には体験できるまで待たせてしまった場面もありましたが、盛況に終了することができました。看護協会の看護グッズプレゼントもとても好評で、参加された親御さん、子供たちの良き記念と思い出になったと思います。

理事会だより

第1回 理事会

日　時■平成27年5月15日(金)　午後1時30分～午後4時43分
場　所■秋田県看護協会 第一研修室／出席者■理事17名、監事 2名／欠席者■理事3名

1.議　事

1）平成27年度公益社団法人秋田県看護協会事業計画(案)について……承認
2）平成26年度公益社団法人秋田県看護協会決算報告(案)について……承認
3）平成27年度収支予算(案)について……承認
4）秋田県看護協会立居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について……承認
5）地区支部委員の変更について……承認
6）秋田県看護協会通常総会プログラム及び議案の確認について……承認
7）第64回東北公衆衛生学会への賛助の依頼について……承認

2.協議事項

1）日本看護協会への要望について
2）平成27年度秋田県看護協会通常総会の運営について
3）秋田県看護協会通常総会進行シナリオについて
4）ハラスメント防止等規程について

3.報告事項

1）平成27年度日本看護協会第1回理事会報告
2）平成27年度常任･特別委員会委員の所属施設及び所属施設名の変更について
3）平成28年度日本看護協会代議員及び予備代議員候補者の所属施設変更について
4）平成27年度会員数の状況について
5）認定看護研修者修学資金貸与に係る調停について

第2回 理事会

日　時■平成27年6月17日(水)　午前9時50分～午前11時30分
場　所■秋田県看護協会 第一研修室／出席者■理事19名、監事 2名／欠席者■理事1名

1.議　事

1）平成27年度補正(修正)収支予算書(案)について……承認
2）訪問看護ステーション職員業績手当の支給について……承認
3）「あきた　がん　ささえ愛の日」賛助金について……承認
4）公益社団法人秋田県看護協会役員の選任に関する規程の一部改正について……承認

2.協議事項

1）平成27年度秋田県看護協会通常総会について
2）平成27年度環境･保健事業功労者知事表彰候補者の推薦について
3）認定看護管理者教育課程ハラスメント防止に関する規程(案)及び
　ハラスメント委員会規程(案)について

3.報告事項

1）平成27年度日本看護協会通常総会について
2）サードレベルの応募状況について
3）秋田紛争調停委員会あっせんについて
4）平成27年度ふれあい事業社会福祉施設等贈呈先について

第3回 理事会

日　時■平成27年6月18日(木)　午後3時45分～午後4時46分
場　所■秋田県看護協会　第一研修室／出席者■理事19名、監事 3名

1.議　事

1）役員の選任について……承認
2）会長臨時代理の選定について……承認
3）常務会の構成員の選任について……承認
4）理事会議事録の作成者について……承認

2.協議事項

1）各理事の行事等担当について

3.報告事項

1）平成27年度日本看護協会理事会報告及び行事･事業日程について
2）平成27年度秋田県看護協会事務局組織図、事務分掌及び行事･事業日程について
3）「ボランティア活動･他団体会議等」に関する調査について

第4回 理事会

日　時■平成27年7月24日(金)　午後1時30分～午後4時18分
場　所■秋田県看護協会 第一研修室／出席者■理事16名、監事 3名／欠席者■理事3名

1.議　事

1）平成28年度秋田県看護協会通常総会の日程(案)について……承認
2）公益社団法人秋田県看護協会ハラスメント防止等規程の制定について(案)……承認
3）公益社団法人秋田県看護協会委員会規程の一部改正について(案)……承認
4）訪問看護ステーションあきた運営規程の一部改正について(案)……承認
5）特別委員会委員の変更について……承認
6）訪問看護ステーションおおだてハチ公運営規程の一部改正について(案)……承認

2.協議事項

1）平成27年度秋田県看護行政懇談会について
2）日本看護協会への要望について
3）平成27年度秋田県看護協会通常総会課題等について

3.報告事項

1）事業報告
　(1)業務執行状況報告
　(2)地区支部事業報告
　(3)庶務報告
2）会計報告
3）秋田県看護センター建設積立金について
4）平成27年度環境･保健事業功労知事表彰候補者について
5）子育て応援団「すこやかあきた2015」について
6）県民と集う訪問看護フォーラムについて
7）地区支部事業に係る傷害保険加入者について
8）平成27年度ふれあい事業社会福祉施設等贈呈先について

※概要を知りたい方は、当協会ホームページ(http://www.akita-kango.or.jp/)をご覧ください。ホームページにアクセスできない方は、当協会にご連絡下さい。

安全情報 No.8

医療・看護安全委員会

三方活栓の開閉忘れ

三方活栓の開放を忘れたため薬剤が無投与となった事例や、閉鎖を忘れたため血液が逆流した事例が報告されています。

事例1

薬剤をシリンジポンプで開始することになった。シリンジポンプに注射器をセットした後にラインを三方活栓に接続したが、三方活栓を開放しないままポンプの開始ボタンを押した。
その後薬液が投与されていないことに気づいた。

事例2

点滴が終了し看護師はロックのため輸液セットを外し三方活栓から生食を注入した。本来であれば三方活栓の流路を閉鎖し注射器を外すところ、他の患者に呼ばれ、三方活栓を開放したまま注射器を外しその場を離れた。その後、患者のもとへ戻ると、開放していた三方活栓から血液が逆流しているのを発見した。

・三方活栓のコックの向きと流路を確認しよう
・三方活栓の構造を理解しよう

日本医療機能評価機構　医療安全情報　No.105

医療事故調査制度について

○医療事故調査制度は、平成26年6月18日に成立した、医療法の改正に盛り込まれた制度です。制度施行は平成27年10月1日です。
○医療事故が発生した医療機関において院内調査を行い、その調査報告を民間の第三者機関（医療事故調査・支援センター）が収集・分析することで再発防止につなげるための医療事故に係る調査の仕組み等を、医療法に位置づけ、医療の安全を確保するものです。

厚生労働省HPより

多様な勤務形態導入事業

テ　ー　マ　：　看護職の働き続けられる環境づくり
基調報告　：　看護職のWLB推進活動の動向　／　WLB推進先行施設からの報告

日　時　：　平成27年10月 24日（土）10:00～12:00　　会　場　：　地域医療機能推進機構秋田病院

事務局からのお知らせ

第42回　秋田県看護学会

学術集会テーマ　：　支え　つなぐ　看護の未来

日　時　：　平成27年10月20日（火）10:00～15:30
会　場　：　秋田テルサ　1階ホール
参　加　：　当日参加可能です。
参加費　：　会員 3,240円　非会員 5,400円　看護学生 1,080円

2015年10月から「看護師等の届出制度がスタートしました。」

対象者

退職時に仕事が決まっていない方
仕事をしていない方
就職する予定がない方
看護職以外で就業中の方

ナースセンターに届出しましょう

2015年10月～

届出専用サイト
eナースセンター
「とどけるん」

または

秋田県ナースセンター窓口へ

《届出項目》

- ●氏名
- ●生年月日
- ●住所
- ●電話番号
- ●電子メールアドレス
  その他の連絡先に関する状況
- ●保健師・助産師・看護師
  准看護師籍の登録番号
  および登録年月日
- ●就業に関する状況

都道府県ナースセンターは、離職者の状況に合わせた支援を行います！

【お問合せ先】　秋田県ナースセンター　TEL. 018-832-8810　Fax. 018-853-4376
E-mail：akita@nurse-center.net

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。

編集後記

朝晩の冷え込みが著しくなり、紅葉への期待が高まりますが、体調管理に気を使うこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。
これからも魅力ある広報誌となるよう頑張っていきます。
ご意見・ご感想お待ちしております。

（記：丸井　直人）

看護あきた Vol.121 平成27年度 2号
Nursing Akita

発　行　日／平成27年10月14日
発行責任者／公益社団法人 秋田県看護協会 会長
発　行　所／公益社団法人 秋田県看護協会　秋田市千秋久保田町6-6 Tel 018-834-0172
印　刷　所／秋田中央印刷(株)　秋田市新屋豊町6-43 Tel 018-823-7577